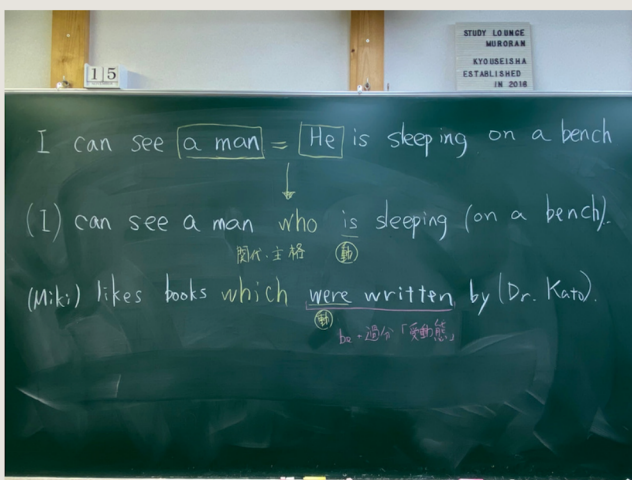


ARS LONGA, VITA BREVIS

北海道室蘭市の塾・フリースクール 共生舎の教室だより



混戦模様の公立高入試

激戦を恐れず、諦めず、挑み続けるべし！

11月の進路希望調査が実施され、胆振西学区では、室蘭栄（普通）と室蘭東翔が1倍越えとなり、とりわけ室蘭東翔は1.2倍という最も高倍率となりました。他方、1倍を超えていないまでも、10月と比較すると、伊達開来が大きく伸ばした様相です。

当教室も室蘭東翔受験希望者が複数名おりますが、最後の最後まで激戦を強いられることになるでしょう。他方、室蘭清水丘受験希望者も複数名おりますが、内申点は足りていても学力点が心配という声も多く、とりわけ得意科目と不得意科目の差が激しいなど、不安を感じる学生も少なくありません。

いずれにせよ、今年の学力テストでは、英数理の3科目が、ただ学校の教科書やワークだけの勉強では、なかなか得点しにくい内容となっていました。その中でも、今年の当教室の中3生からは、できるだけ答案に残せるものは残そう、明確にわからなくても諦めずに取り組みよう、という前向きな姿勢を伺うことができています。

このため、基礎固めは当然のことなのですが、それだけではなく、解ける・解けないに関わらず、初見の問題、入試過去問の難問、他都府県の問題等、経験値を積極的に積むことが望ましいと考えます。その中で、答案を導く手順を整理しておく（理由づけ、関連付けなど）ことが当日点アップへのカギとなります。弱音を吐いても構いませんがほどほどに。自分の基礎力の積み重ねを信じて挑み続けましょう！

今号の目次

- 混戦模様の公立高入試
- 11月学力テスト所感
- 読解・表現力養成の3ステップ
- 11月の授業風景等
- フリースクール第2四半期を終えて
- 冬季講習の実施について
- 編集後記

11月学力テスト所感

決して悲観せず、できることを積み重ねよう！

中3生の総合C学力テストも含め、一部中学校を除いて、全学年で学力テストが実施されました。当教室の塾生さんたちも、次々と結果を報告してくれています。

先月の教室日より同様、「大幅な得点アップにこそ結びつかないものの、奮闘の跡が見られる」と考えられ、「前回より少し手応えをつかめた」という塾生の声も数多く聞くことができました。

間違いを恐れず、知っている限りのことは最大限答案に反映させよう……この願いが、塾生さんたちにも届いてきているように感じています。

他方、出題傾向にも変化が見えはじめ、たとえば数学では、比較的得点のしやすい問題が揃っているはずであった前半の大問でさえも、少し応用的思考力が必要となる問題も混じってきています。また、理科では、実験の目的と結果、そしてそれを示す数的処理能力が求められるようになり、公式も意味が理解できているのか、ただの暗記で乗り越えようとしているのかが見透かされる問題もありました。

定期試験にも言えることですが、「何を問われているのか」「どう答えるか」意識しながら、答案に向かいたいものです。

読解・表現力養成の3ステップ

落ち着いて、問題文の条件を読み違えずに！

テストとなると、どうしても時間の制約があり、「速く解かなければ」という気持ちが空回ってしまうことがありますか。それも含めて経験不足、演習不足だと言い切ってしまうのは簡単なのですが、結果を責められるだけでは、次につながりません。

そこで、どのような経験・演習を積むとよいのかを、当教室として考察しましたので、お知らせ致します。お役に立てましたら幸いです。

① 目的意識を持った問題演習

ただただと解くのではなく、簡単にでも「単元の目標」や「自分の目標」を決めます。仕方なく答えを写さなければならない場合でも、「ここまでなら自分でできる」や、「時間のある時に自分で模範回答を再現する」など、必ず自分の考えを入れるようにしましょう。

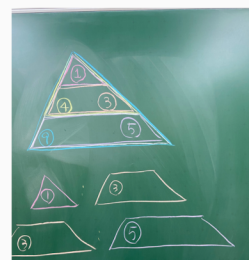
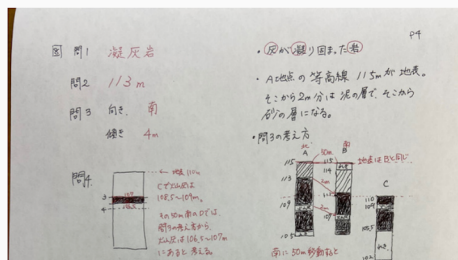
② ミスを恐れず学んだ語句を使おう！（漢字も）

漢字を間違えて減点されるかもしれません。表現の不十分さで減点されるかもしれません。しかし、今のテストは「どう考え、答えを出したか」がとても重要視されます。何も書けずにいるぐらいなら、わかっていることを少しでも書いて、積極的に答案をつくりましょう。また、結果を見る側も、できなかったことだけを責めたり、自分との出来を比較したりするのではなく、どうしたら次に活かせるかを考えられるようにしてあげたいものです。

③ 何を問われ、どう答えるべきか確認を！

「どんなことですか」には「～ということ」で、実験の問題には「テーマ」「方法」「結論」を…など、設問の分析的読解と解答ルールの確認が大切です。設問に印をつけながら読むなどの工夫を！

11月の 授業風景等



フリースクール第2四半期を終え

小なれどその歩みは前へ

今年7月から営業を開始したフリースクール。教室長一人での運営となるため、曜日を限定しての営業とはなりましたが、ご利用の実績がありましたので、教室公式サイトに業況報告を掲示致しました。

公的文書として提示できるよう、難解な表現も少なくはないとは思いますが、多くの皆様に知っていただき、ご家庭と学校さんとの間に、客観的な第三者としての観点に加わることの有用性について、ご一考頂けますと幸いです。

当教室は、学生さんの中長期的な成長を鑑みたく、どのような環境が学生さんにとってよいものと

なるのかを、ご家庭と学校さんのお話の中で調節していく存在となることを目的としています。実のところ、一部の学校さんには報告書を提出し、出席扱いの要件について検討の余地があるとのことで、少しずつ形になってきているように感じます。

出席扱いとなるかどうかはともかく、本来学校で過ごしている時間帯に、別の所で過ごしていることについて、学校として把握することは大切であると当教室も考えております。今後も、ひとつひとつの取り組みを、迅速かつ丁寧に積み重ねて参りたく存じますので、宜しくお願い致します。

冬季講習の実施について

八丁平午後枠新設！より便利になりました！

*講習期間 12/25～1/12 但し12/30～1/3及び
土日は原則として休講となります。

①八丁平午後枠初開催！

期間中の月・木曜日、13時から八丁平町会館にて講習が受講可能となります。スケジュールは次の通りです。

- ・13:00～14:00 中3英語特講
- ・14:15～15:15 オープンクラス
- ・15:30～16:30 オープンクラス（木曜のみ）

※オープンクラスは、通常授業の振替未消化分に充当可能です。但し、講習利用優先のため、進行の都合上ご希望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承願います。

②講習計画書（兼出席票）を全員に交付！

どういう目的を達成するために、どういうメニューに取り組むのか。集団授業の場合であっても、お一人ずつ講習計画表（兼出席票）を作成！まずは見積もり兼計画案を、お申し込み順にお渡ししてまいります。

*コースのご案内

- ・中3英語特講（月・木 八丁平）60分
5回 教材費込 15,000円（塾生等1,000円引）
 - ・オープンクラス 60分
1回あたり 小学生1,800円 中高生2,400円
 - ・完全個別 60分
1回あたり 全学年2,700円 受験生300円増
- その他、詳細はウェブサイトでご確認ください。

英語特講締切12/15・その他講習締切12/20です。
詳細はこちらのQRコードからご確認ください。



編集後記

「できない口実より、できる方法を」...このマインドを獲得するまで、ややしばらくかかりました。無論、人間ですから、弱音も吐きたくりますし、尻込みしてしまうことだってあります。しかし、そこばかりにとらわれていては、話が前に進まないどころか、停滞、後退という結果にもなりかねません。弱音を吐いたり尻込みする気持ちになったりした、その後をどうするか。一人で解決が難しいことにどう立ち向かうか。相談することもある種の勇気が必要かもしれませんが、それを含め、行動を起こす勇気をまず認めるムードが広がることを願ってやまないものです。

令和5年12月吉日 共生舎 高橋 慎吾 拝